

4 男女共同参画ふくしまプランの推進

(1) 計画の進行管理

男女共同参画ふくしまプランの具体的な推進に際しては、福島市男女共同参画推進条例第9条3項の規定に基づき、毎年この単年度報告を作成し、進捗状況の把握と適切な進行管理に努めてまいります。

また、進行管理にあたっては、PDCAサイクルに基づき行うこととし、個別事業の進捗状況と計画全体の評価の両面から点検・評価を行い、その結果を公表していきます。

なお、単年度報告のPDCAサイクル各部は、以下のとおりです。

① 意識改革をめざす啓発活動の推進 (施策)

ア 情報紙の発行 (事業名)

○ 男女共同参画について理解を深めてもらうため、男女の市民参画による情報紙を発行する。(事業の内容)

イベント名	男女共同参画情報誌「しのぶびあ」第38号の発行					<p>↑</p> <p>P</p> <p>(H27～H32の事業計画)</p>		
対象	市政だより折込による全戸配布							
参加人員	—							
実施時期	3月							
実施場所	—							
実施結果・効果	しのぶびあ放談会を開催し、「これからの働き方・生き方を考えよう」をテーマに様々な職業や年齢の方6名と「ワーク・ライフ・バランス」や「イクボス」等について話し合った内容を掲載した。また、フルーツファームカトウ園主の加藤修一さん取材し、吟嬢桃に対する思いや農業における男女共同参画の考えを伺い、併せて掲載した。108,800部作成し、全戸配布を行った他、市の各施設に配置し、市民の男女共同参画意識の醸成に努めた。					←	D	(H27事業実施報告)
評価	A					←	C	(Dに対する評価)
A評価に向けた課題と今後の取組 (本年度計画)	平成28年度は、平成27年度の市民編集員4名を増員し、編集会議を重ねながら、一層内容の充実を図るとともに、より効果的な啓発に努める。 平成28年度作成予定部数：107,300部					←	A	(H28～事業実施計画)
年次計画	28	29	30	31	32			
	→							

(2) 単年度報告の見方

- ① 計画に記載がある「施策」・「事業名」・「事業の内容」を載せています。
- ② 平成27年度に実施した事業の「イベント名」・「対象」・「参加人員」・「実施時期」・「実施場所」を記載しています。該当がない項目には、「―」を記載しています。
- ③ 平成27年度に実施した事業の実施結果及び事業効果を記載しています。
- ④ 平成27年度に実施した事業の評価を「A・B・C・D・―」により行います。
(※評価基準は6ページを参照)
- ⑤ A評価に向けた課題と、課題解決に向けた平成28年度以降の取組を記載しています。
- ⑥ 事業に関する写真・資料等を掲載しています。
- ⑦ 平成28年度の所管課を記載しています。平成27年度の旧所管課は()書きで記載しています。

① 意識改革をめざす啓発活動の推進 (施策)
 ア 情報紙の発行 (事業名) ①
 ○ 男女共同参画について理解を深めてもらうため、男女の市民参画による情報紙を発行する。 (事業の内容)

②	イベント名	男女共同参画情報誌「しのぶびあ」第38号の発行					⑥	
	対 象	市政だより折込による全戸配布						
	参加人員	―						
	実施時期	3月						
	実施場所	―						
③	実施結果・効果	しのぶびあ放談会を開催し、「これからの働き方・生き方を考えよう」をテーマに様々な職業や年齢の方6名と「ワーク・ライフ・バランス」や「イクボス」等について話し合った内容を掲載した。また、フルーツファームカトウ園主の加藤修一さんを取材し、吟嬢桃に対する思いや農業における男女共同参画の考えを伺い、併せて掲載した。108,800部作成し、全戸配布を行った他、市の各施設に配置し、市民の男女共同参画意識の醸成に努めた。					⑦	
④	評 価	A						
⑤	A評価に向けた課題と今後の取組 (本年度計画)	平成28年度は、平成27年度の市民編集員4名を増員し、編集会議を重ねながら、一層内容の充実を図るとともに、より効果的な啓発に努める。 平成28年度作成予定部数：107,300部						
年次計画		28	29	30	31	32		所管課 男女共同参画センター
		→						

(記号の種類と意味)

種類	記号の意味
→	継続して取り組む事業
●	新規に取り組む事業
○	単年度のみ取り組む事業
―	年次計画なし

(3)

事業の評価基準

評価		結果の数値化が困難な事業		
		優先 結果が数値化できる事業 (講座・研修・調査・登用等)	結果の数値化が困難な事業	
			通年で実施する事業 (広報・啓発・相談・支援等)	短期間で実施する事業 (イベント・協議会・懇談会等)
A	事業を実施し、 <u>著しい成果があった</u>	8割以上の成果 ※目標値が設定されている場合は達成していること	事業内容が広く対象に周知又は利用等されており、課題や改善点がほぼない状態 (継続実施)	事業実施の結果、市及び対象者が有益な効果を得ることができ、課題や改善点がほぼない状態 (継続実施)
B	事業を実施し、 <u>成果があった</u>	6割以上の成果	事業内容が概ね対象に周知又は利用等されているが、課題や改善点もある状態 (一部変更実施)	事業実施の結果、市及び対象者が一定の効果を得ることができた一方、課題や改善点もある状態 (一部変更実施)
C	事業を実施したが、 <u>あまり成果がなかった</u>	3割以上の成果	事業内容が一部の対象にのみ周知又は利用等されており、なお一層の改善を要する状態 (一部変更実施)	事業実施の結果、市及び対象者が一部の効果を得るに留まり、なお一層の改善を要する状態 (一部変更実施)
D	事業を実施したが、 <u>成果がなかった</u>	3割未満の成果	廃止を含め、事業の大幅な見直しを要する状態 (変更・廃止検討)	廃止を含め、事業の大幅な見直しを要する状態 (変更・廃止検討)
—	未実施	事業を実施しなかった(できなかった)場合に使用 【実施結果・効果】 事業を実施しなかった(できなかった)理由を記載 【A評価に向けた課題と今後の取組(本年度計画)】 本年度に実施予定がある場合は記載		
勘案する項目 (複数項目で判断)		<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に対する現在値 ・前年度対比、伸び率 ・調査結果、調査回収率 ・登用率、参画割合 ・定員に対する参加者数、応募者数、修了者数 ・アンケート結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりへの掲載、折込 ・地区だよりへの掲載 ・市ホームページへの掲載 ・需要と供給のバランス ・事業の予算化の有無 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者(参加者)数 ・開催回数 ・意見の聴取と事業化